広報紙
わたしのおぎくぼ
2021・22
12月・1月
No.354
11月30日発行

発行：荻窪地域区民センター協議会　〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9127　FAX 3398-9128
ホームページ　https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
荻窪地域区民センター　杉並区荻窪2-34-20　☎3398-9125　【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所　杉並区本天沼2-12-10　☎5310-4633　【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

第43回 アート展

1月29日(土)・30日(日)

29日(土)：午前10時～午後4時
30日(日)：午前10時～午後3時30分
会場：荻窪地域区民センター

アートを楽しみ、心も暖かく！

★杉並区民・グループの作品
★小・中学校の児童・生徒の作品

絵画、彫刻、写真、書、
工芸・陶芸・彫金、
短歌・俳句、手芸 など

特別展：石山太柏
～荻窪ゆかりの日本画家～

石山太柏は天沼に住み、武蔵野風景を精力的に描いた日本画家。
また茶道にも造詣を深め、日本茶道院を創設した。

石山太柏
（写真提供：石山隆唯氏）

これからのスケジュール

12月
- ●3日・10日・17日(金)「背骨を整えよう！ 腰痛スッキリ体操」講師：高橋晃史（背骨コンディショニングスペシャリスト）
- ●5日(日)「防災フォーラム」西荻地域区民センター協議会と共同開催
- ●11日(土)～1月30日(日) パネル展示「荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」会場：杉並区立郷土博物館分館西棟1階
- ●12日(日)「荻窪寄席」落語：金原亭馬玉、太神楽曲芸：翁家和助

令和4年1月
- ●22日(土) 新春講演「天才・手塚治虫との対話から」講師：加藤丈夫（国立公文書館前館長）
- ●25日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.355 2月・3月号発行
- ●29日(土)・30日(日)「アート展」

2月
- ●2日(水)～3月21日(月) パネル展示「荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史」会場：当センター1階ロビー
- ●4日・11日(金)「正しく学ぼう！ ラジオ体操」講師：鉾立和子（全国ラジオ体操連盟公認級指導士）
- ●5日(土)「地域懇談会」
- ●10日(木) 調理実習「ビバ・発酵食！」講師：梅山朋子（すぎなみ栄養と食の会会員）
- ●19日(土)「荻窪のネパール人学校（E-SJ）を知ろう」講師：バット・ビスヌ・パラサド校長
- ●27日(日)「本天沼集会所まつり」会場：本天沼区民集会所

3月
- ●5日(土) 地域交流会「こみゅに亭カフェ」
- ●15日(火) 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.356 4月・5月号発行

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：●事業企画部 ●地域交流部 ●広報部 ●総務部

※新型コロナウイルス感染症対策に伴い、スケジュールが流動的です。変更する場合はホームページなどでお知らせします。

近隣の高等学校訪問 第1回

一人一人の良さを認め合いチーム力を高めていく

中央大学杉並高等学校

高校紹介の新シリーズ第1回は、中大杉並高校の大田美和校長先生からお話を伺いました。

★概要

桃井原っぱ広場や観泉寺に近い中央大学杉並高等学校は、昭和38年に旧中央大学杉並高等学校が小金井市に移転したあと、その名称と校舎を引き継ぎ、男子部・女子部併設の全日制普通科高校として新たに設立されました。生徒数は男子460人、女子538人の計998人（令和3年度）です。正面玄関には、初代校長の「真善美」という校訓、建学の精神が掲げられています。10年前の創立50周年に際しスクールメッセージとして新たに「共育と共創」（共に育ち、共に創る）を宣言しました。

★中大杉並高校の特色

中大の付属高としては、杉並高等学校のほか小金井の中学・高等学校、横浜の横浜中学・高等学校、文京区にある高等学校の計4校がありますが、いずれも大学受験なく推薦で中大へ進学できます。なかでも杉並高校から中大への進学率は90％を超えトップに位置しています。

大学合格は目標ではなく、その先、よりよい社会人になるには今何をしたら良いのか、自覚的に考え、行動できる生徒を育てるのが中大杉並高校の教育です。大学受験がないだけに、3年間、部活動に全力で取り組むことが可能になります。例えば、ボート部は今年インターハイで6位入賞を果たしました。

パソコンを使った双方向の授業

もちろん、3年間の総合成績で進学できる学部が決まるだけに、勉学をおろそかにしている訳ではありません。3年生は卒業論文を書かなければなりませんし、3年間で課題図書を100冊読む必要もあります。

また、大局に立ちながら物事を論理的に考える思考法を鍛えるために、「探究マップ」という独自のワークシートを使って、生徒たちが互いに助け合いながら論議を深めていく機会もあります。

★コロナ禍での教育

遠方から電車やバスで通学する生徒が多い中大杉並高校では、授業の始まりをラッシュに遭わないよう遅らせ、食事の時はシールドを設置して黙食を徹底するなどコロナ対策に努めていることにより、クラスターはもちろん、校内感染は1件も発生していないそうです。

コロナ禍以前には、ボランティア活動として近くの保育園で音楽演奏をしたクラブもありましたが、今はそれに代わって映像配信するような例もあります。

一方で、感染対策として物理部の生徒たちが教師の指導で「足踏み式消毒器」をつくり、荻窪病院や老人施設に送ったところ、大変喜ばれたそうです。荻窪地域区民センターにも設置して頂いています。

土曜講座の一つ「カウンセリング講座」

審判を立てず自分たちで攻守交代を判断するニュースポーツ

★大田校長の思い

大田美和（おおた・みわ）校長は、中央大学文学部の教授でもあります。中大と言えば「法学部」が有名ですが、どの学部も就職実績に差はありません。高校生が大学の授業を履修できる制度の活用や、中大生との協同による読書推進活動などの「高大連携教育」によって、生徒一人ひとりの趣味や適性に合った進路選択を支援しています。

中央大学杉並高等学校
住所:167-0035 東京都杉並区今川2-7-1　電話:03-3390-3175
ホームページ:http://www.chusugi.jp/

講座紹介

新春講演「天才・手塚治虫との対話から」

「少年倶楽部」の黄金期を築き、戦後には伝説の雑誌「漫画少年」を発刊した名編集者・加藤謙一を父に持つ講師が少年時代に直に接した天才・手塚治虫をはじめとするトキワ荘を巡る若き漫画家達との交流を語り、その時代の意義を論じます。

★日　時:令和4年1月22日(土)午後1時30分～3時
★講　師:加藤丈夫(国立公文書館前館長)
★場　所:荻窪地域区民センター第1・2集会室
★定　員:30名　※受講を希望する方は、P4の「講座などのご案内」を読んでお申し込みください。

写真(上):講師がモデルとなった「漫画少年」1951年4月号表紙

第20回
「荻窪の記憶」
こぼればなし

絹の道

数日前のこと、自転車で高円寺の蚕糸の森公園に向かっていると、携帯のベルが鳴りました。本コラムの締め切り日を知らせる電話でした。毎回、コラムのテーマ探しには苦労しますが、今回もテーマが決まらないうちに締め切りが目の前というわけです。

旧蚕糸試験場の門

ところで、筆者が蚕糸の森公園に向かっていたのは、「荻窪の記憶」展のパネルに載せる旧蚕糸試験場の赤レンガの門の写真を撮るためでした。一万坪の敷地を誇った蚕糸試験場は、戦前、日本の輸出品の第一位を占めていた生糸の重要さを物語っています。もう、あれこれテーマを迷っていても仕方ありません。ここは、生糸にテーマをしぼるのが賢明というものでしょう。

さて、生糸をつくるには、桑を育てて蚕を飼い、繭をつくらせる「養蚕」と繭から糸をつくる「製糸」の二つのプロセスが必要です。そのため、明治政府は世界最大級の富岡製糸場をつくり、農家の副業として養蚕を大いに奨励しました。武蔵野の農村だった杉並区も例外ではありません。しかし、必ずしもその成績は振るいませんでした。そうしたなかで、上下の井草と上下の荻窪からなる井荻村は例外で、豊多摩郡第一の養蚕村になりました。下井草で蚕の飼育を研究していた大沢初蔵というよき指導者がいたからです。初蔵は、繭の収穫量は蚕種紙（さんしゅし）の良否によると、全国から蚕種紙を取り寄せ、杉並の風土に適するものを見つけ、技術指導に当りました。

蚕種紙は「たねがみ」ともいい、蚕蛾（かいこが）に卵を産み付けさせた紙です。下の写真は、中国で紀行番組を制作した折、シルクロードのオアシス都市ホータンで撮った蚕種紙と蚕蛾です。中国で生まれた養蚕技術は秦の時代から厳しく統制され、長く国外に出ることはありませんでした。その技術がはじめて西域に伝えられたのがホータンだったといわれ、玄奘三蔵の『大唐西域記』にも、「ホータンの国王に嫁した漢の王女が、国外持ち出しを禁じられていた桑と蚕の種を冠のなかに隠してもたらした」と書かれています。

日本に養蚕技術が伝わったのも、この頃のようです。しかし、シルクロードで中国と結ばれたヨーロッパへ伝わるのは、それから500年以上も先のことでした。卵から孵った蚕は、柔らかな桑の葉がなければ、育ちません。その桑の栽培が難しかったのが一因だそうです。

蚕種紙

いまも初蔵が残した養蚕に関する明治時代の文書を保管する大沢家の前には、早稲田通りが走っています。夕闇迫るその道が、筆者には、絹の道「シルクロード」にも思えたことでした。

「荻窪の記憶」プロジェクト　松井和男

イベント報告 マルシェ in 荻窪地域区民センター

地元農家が出荷「杉並新鮮野菜」

ハロウィン仮装の「撮影コーナー」

10月31日(日)、当センターにて「マルシェ in 荻窪地域区民センター」が開催されました。(来場者約700名)。今年度は新型コロナ感染症対策のため、例年実施してきた「おぎくぼセンター祭」の開催を断念し、規模を縮小し、物販主体のマルシェ(市場)を開催しました。メインの「物販」では「杉並産新鮮野菜」の販売などを、「撮影コーナー」ではハロウィン仮装用の写真背景を設置し、屋外の「苗木で募金」では東京都や杉並区から提供された苗木を配布しました。

イベント報告 荻窪音楽祭 地域ふれあいアフタヌーンコンサート

11月6日(土)、荻窪地域区民センター1F談話コーナーで荻窪音楽祭の一環として「地域ふれあいアフターヌーンコンサート」を開催しました。前半のピアノ・江口純子＆バイオリン・吉久亜紀は、人気の「カルメン」や映画音楽メドレー等を、後半の都立杉並高校吹奏楽部は5組のカルテット(4重奏)に分かれて、お得意のディズニーメロディー「星に願いを」等を演奏しました。お客様は久しぶりのミニコンサートを堪能された様子で、拍手が長い間鳴り響きました。

江口純子(pf)&吉久亜紀(vn)

都立杉並高校吹奏楽部

講座などのご案内

※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定 員	参加費	申込締切
新春講演 「天才・手塚治虫との対話から」	「漫画少年」を発刊した加藤謙一を父に持つ講師が、天才・手塚治虫をはじめとする若き漫画家達との交流を語ります。P2に開催案内があります。 講師：加藤丈夫（国立公文書館前館長）	1月22日（土） 午後1時30分～3時	30名	200円	1月9日（日）
正しく学ぼう！ ラジオ体操	軽快なリズムに合わせて体全体をバランス良く動かし、健康長寿の元になるラジオ体操を正しく学びます。 講師：鉾立和子（全国ラジオ体操連盟公認一級指導士）	2月4日・11日 各金曜日（2回） 午前10時～11時30分	20名	200円	1月24日（月）
調理実習「ビバ・発酵食！」 ～もっと発酵食品と 仲良くなるために～	発酵食の調理実習です。献立は4品（みそピラフ、鮭の酒粕グラタンほか）。持ち物：エプロン、三角巾、布巾、お手拭きタオル、マイ箸、筆記用具をご持参ください。 講師：梅山朋子管理栄養士（NPO法人 すぎなみ栄養と食の会会員）	2月10日（木） 午前10時30分～正午	15名	1,100円 材料費込	1月30日（日）

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに〈一人一枚〉 ①希望講座名 ②住所 ③氏名（フリガナ） ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 （申し込み多数の場合は抽選です。）

荻窪の記憶Ⅳ 清水・桃井・今川の歴史

荻窪地域区民センター協議会では、荻窪の歴史を掘り起こし、後世に伝える「荻窪の記憶」プロジェクトに取り組んでいます。

今回（第4回）のパネル展示では、武蔵野の面影を今なお色濃く残す清水、戦前まで荻窪の中心だった八丁（桃井）、今川家の菩提寺・観泉寺が落ち着いた古都の雰囲気を漂わせる今川、3地区の歴史をたどり、その魅力を再発見します。

清水の農家

八丁の看板建築（桃井）

観泉寺の築地塀（今川）

杉並区立郷土博物館分館 区民参加型展示

開催期間：12月11日（土）～1月30日（日）

- **展示場所**：郷土博物館分館 西棟1F展示室
  杉並区天沼3-23-1（天沼弁天池公園内）
  ☎03-5347-9801
- **開館時間**：午前9時～午後5時
- **休館日**：毎週月曜・第3木曜 年末年始（12/28～1/4）

荻窪地域区民センター 玄関ロビー展示

開催期間：2月2日（水）～3月21日（月）

- **展示場所**：荻窪地域区民センター 1F玄関ロビー
  杉並区荻窪2-34-20
  ☎03-3398-9125
- **開館時間**：午前9時～午後9時
- **休館日**：第2・第4月曜日 毎月20日

協議会委員を追加募集します！

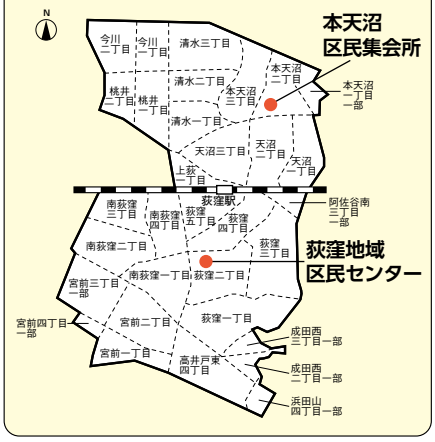
荻窪地域区民センター協議会では、ボランティアで活動していただける委員を追加募集します。協議会委員は、地域に役立ちたいとの思いがあれば、経験経歴は不問です。奮ってご応募ください。

活動内容は各種イベントの開催（地域交流部）、講座・講演会の企画運営（事業企画部）、広報紙の編集発行・ホームページの制作運営（広報部）、総務・経理業務担当（総務部）などです。

募集要領

- **募集対象**：荻窪地域区民センターのエリア（右図参照）に在住・在勤の方
- **募集人員**：若干名
- **活動期間**：令和7年3月まで
- **報酬**：交通費程度
- **申込書類**：申込書（荻窪地域区民センター・本天沼区民集会所で配布、または協議会HPからダウンロード）に必要事項を記入し、協議会事務局へ提出してください。
- **問い合わせ先**：荻窪地域区民センター協議会事務局 ☎3398-9127
- **面接**：日程を調整させていただきます。

荻窪地域区民センターのエリア



●当協議会のHPアドレスを変更しました

・旧アドレス http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
・新アドレス https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
セキュリティ強化のため、SSL対応を行いました。
旧アドレスでも閲覧可能。新アドレスに自動変換します。

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程

12月21日（火） 午後1時～ 会場：第1・2集会室
1月25日（火） 午後1時～ 会場：第1・2集会室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。